

# 兵庫県立 考古博物館 NEWS Vol. 3



Hyogo Prefectural  
Museum of  
Archaeology



2009 Spring-Summer



Photo : 復元した銅鐸

— 平成 21 年 —

- 特別展「王朝国家の光芒—各地に花開く宮廷文化—」…………… 2
- 企画展「夏休み・考古学ナゾ解き教室」…………… 3
- ふるさと発掘展「アメノヒボコの考古学」…………… 3
- 実演！よみがえる古代の出土品…………… 4
- 調査研究「古代山陽道の駅家を調べる」…………… 4
- 考古博トピックス「破碎銅鐸のナゾに迫る」…………… 5
- 竪穴住居復元プロジェクト継続中…………… 6
- 赤米で酒を造ってみました…………… 6
- 発掘する博物館のバックヤード見学ツアー…………… 7
- イベントスケジュール…………… 8

特別展

# 「王朝国家の光芒-各地に花開く宮廷文化-」

教科書で平安時代後期のあたりを開くと、「院政」「保元・平治の乱」「平氏」「源氏」といった言葉を目にするでしょう。その時代は貴族の政治が武士に取って代わられた変革期というイメージが強いのですが、平安の王朝文化が爛熟期を迎えて、最後の光芒を閃かせた瞬間でもあります。

今回の展示では、「平安京」周辺に次々と造営された豪華な御所や寺院、その都の文化に負けない華麗な文化が成立した奥州藤原氏の本拠地「平泉」、平清盛が遷都を行った「福原」から播磨にかけての地、などで発掘調査された居館や庭園の出土資料をご紹介します。いわば平安の「三都物語」とでも申せましょう。



平等院鳳凰堂の発掘調査  
(平等院 提供)

平等院鳳凰堂は、藤原頼通が宇治の別荘に築いた阿弥陀堂で、その庭園様式は「浄土庭園」と呼ばれ、後世のモデルとなりました。整備工事に伴う発掘調査で、創建当時の池の様子が復元されています。



鳥羽離宮金剛心院 鴛鴦文飾金具  
(京都市埋蔵文化財研究所 提供)

鳥羽離宮は歴代の院によって建造された宏大な院御所で、離宮内にはいくつもの御所・御堂や広大な園池が設けられました。発掘調査された金剛心院からは当時を彷彿とさせる装飾品が出土しています。



平泉・柳之御所遺跡 四耳壺  
(岩手県教育委員会 提供)



祇園遺跡 玳瑁天目碗  
(神戸市教育委員会 提供)

他にも、平家に関係するとみられる居館遺跡が、東播磨地域に点在することはあまり知られていません。この展示を通じて、都から離れた地域の遺跡が中央の歴史の動きといかにつながっていたかを感じ取ってもらいたいと考えています。

(学芸課 中川 渉)

会期 平成21年4月25日(土)～6月28日(日)

(月曜休館。但し5月17日までは無休)

観覧時間: 9:00～18:00 (入館は17:30まで)

観覧料金: 一般 500円

高校生・大学生 400円

小学生・中学生 250円

※ココロカード提示無料。各種割引あり

